

## 令和3年 第4回帯広市教育委員会会議録

1. 令和3年2月16日 火曜日 16時～17時40分

帯広市教育委員会会議を帯広市役所 10階第6会議室に招集する。

2. 本日の出席者

教 育 長	池 原 佳 一
教 育 委 員	田 中 厚 一
教 育 委 員	藤 澤 郁 美
教 育 委 員	佐々木 しゅり
教 育 委 員	柳 川 久

3. 本日の議事日程

日程第1 会議録署名委員の指名について

日程第2 報告第6号 令和2年度帯広市教育研究実践表彰並びに帯広市学校文化活動奨励賞について

日程第3 その他(1) 今後の事業予定について

その他(2) 寄附受納について

その他

日程第4 議案第4号 令和2年度帯広市一般会計補正予算(第15号)について【非公開】

日程第5 議案第5号 令和3年度帯広市一般会計予算について【非公開】

日程第6 報告第7号 教職員の処分について【秘密会】

池原教育長

ただ今から、令和3年第4回帯広市教育委員会会議を開会いたします。

出席委員は全員であります。

会議は成立しております。

ここで諸般の報告をいたします。

(佐藤企画総務課長 報告)

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、田中委員及び佐々木委員を指名いたします。

日程第2、報告第6号、令和2年度帯広市教育研究実践表彰並びに帯広市学校文化活動奨励賞についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

村松 参事

報告第6号、令和2年度帯広市教育研究実践表彰及び帯広市学校文化活動奨励賞の決定についてご報告いたします。はじめに、帯広市教育研究実践表彰についてご説明いたします。議案書30ページをご覧ください。本表彰は教育研究及び教育実践に優れた実績を上げた学校や団体、個人を表彰する制度であります。昭和54年度に発足以来、令和元年度までの41年間で、73団体、32個人を表彰しております。令和2年度につきましては、市内の児童生徒用出席簿一元化のためのソフト開発及び通知表ソフトの改良、新学習指導要領に対応した指導要録ソフトを開発し、本市のICT化の推進及び教職員の働き方改革の推進に大きく貢献いたしました、花園小学校の須貝昌美教諭に決定したところであります。続きまして、帯広市学校文化活動奨励賞についてご説明いたします。次のページをご覧ください。本奨励賞は、学校教育において、優れた文化活動を行った団体や個人を表彰する制度として、平成2年度に発足したものであります。令和元年度までの30年間で、73団体、65個人を表彰しております。令和2年度につきましては、第24回全国高校新聞年間紙面審査賞において、全国163校のうち最高賞となる最優秀賞を受賞したほか、全道高等学校、新聞コンクール写植部門で、全道で3校となる総合賞を23年連続で受賞した、北海道帯広柏葉高等学校新聞局、また、第14回しょうゆ感想文コンクールに、全国から応募された948点のうち、道内唯一の入賞となる、好きなしょうゆ料理部門の佳作に選ばれた、帯広市立つつじが丘小学校5年、泉瀬菜さん、第19回ドコモ未来大賞に全国から応募された8万1,453点のうち、絵画部門中学生の部で2位にあたるシルバーを受賞した、帯広市立帯広第八中学校3年、八田朋子さんに決定したところであります。なお、表彰式につきましては、教育研究実践表彰は、花園小学校において教育長より表彰し、学校文化活動奨励賞は、教育長室で教育長より個別に表彰する予定です。報告は以上であります。

池原教育長

これから質疑に入ります。

田中 委員 2点お伺いしたいと思います。帯広市教育研究実践表彰で花園小の須貝教諭が出席簿ソフト、指導要録ソフトの開発、通知表ソフトの改良をされたということで、非常に素晴らしいことだと思います。1つは、帯広市の小中のこのような出席簿、通知表、指導要録の関係はすべてデジタル化されて、同じスタイルなのでしょうか。それから、国は高校に対しては、通知表の調査書の考え方はなるべく早くデジタル化しましょうという話が出ております。そこへ大学はどう関係していくかという議論をしている最中です。小中学校は今どのような状況なのか併せてお伺いしたいと思います。

西田 課長 出席簿、通知表、指導要録の様式の件ですけれども、出席簿、指導要録については、決められた様式のものを使用しております。通知表については学校ごとで違ってありますが、今年度、小学校は項目について同一のものを使用するようにしております。デジタル化につきまして、様式はペーパーを使っているため、各学校ではペーパーで作成しておりますが、今回、作ったソフトは様式に転記する際に、各学校で使用できるようなソフトで、パソコンで入力すると、そのまま様式に転記される形になっており、非常に使いやすいものになっております。

田中 委員 2点目の質問については、国、デジタル庁の関係で、様々なものをデジタル化していき、ここにも記載してありますが、働き方改革としても、どんどん推進しなさいとなっているのはわかります。小中学校であれば、国とはいっても、北海道、帯広市ということになると思いますから、どのような方向性で動いているのか、全体論としてお伺いします。

西田 課長 校務支援システムというものを自治体ごとに同じシステムを入れて、デジタル化していく流れにはなっておりますが、自治体ごとに様々な運用の仕方をしております。デジタル化の流れの方向になっております。

田中 委員 確認ですが、須貝先生が行われたことは、我々が思っている以上に素晴らしいもので、これで一元化できるという理解でよろしいですか。

西田 課長 はい。

田中 委員 ありがとうございます。

池原教育長 他になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

日程第3、その他に入ります。

その他（1）今後の事業予定についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

服部 室長 学校教育部の今後の事業予定の主なものについてご報告いたします。議案書33ページでございます。まず、企画総務課からは、中学校では3月15日、小学校では3月24日、卒業証書授与式が行われ

ます。また、南商業高等学校では、3月1日に卒業証書授与式、3月3日には一般入学者選抜学力検査、3月16日に一般入学者選抜合格発表が行われます。学校教育部からは以上でございます。

石津 課長

続きまして、生涯学習部からご報告いたします。はじめに、34ページ、生涯学習文化課では、帯広畜産大学及び帯広大谷短期大学との連携講座を3月4日、10日に、とかちプラザで予定しているほか、幼児向けのミニコンサートを市民文化ホールにて3月14日に予定しております。次に35ページ、図書館では、図書館移転15周年・日本華道院十勝支部いけ花展を3月3日から5日まで予定しております。次に36ページ、児童会館では、全十勝小中学生将棋大会を3月21日に予定しております。次に37ページ、百年記念館では、学芸員の調査研究成果などを発表する、博物館講座、学芸員のしごと学芸活動報告会を3月13日に予定しております。次に動物園では、春の裏側探検隊を3月7日に予定しております。最後にスポーツ課では、第28回市民ゴルゲート大会をよつ葉アリーナ十勝において、3月13日に予定しております。生涯学習部からは以上でございます。

池原教育長

これから質疑に入ります。

藤澤 委員

各小学校、中学校の卒業証書授与式の出席者については、保護者も限られてくると思いますが、どこまで可能なのでしょうか。

西田 課長

保護者の参観につきましては、学校の規模や施設の関係もありますので、統一したものにはなりません。会場の中で卒業生も含めて、十分な距離を保つことにより、保護者については、すべての学校で参観できる考えでおります。1名、または2名まで入れられるかについては、学校の規模によって違ってくると考えております。

藤澤 委員

ありがとうございます。

田中 委員

児童会館で行われている将棋の関係についてお聞きします。毎年開催していると思いますが、最近、言うまでもなく、将棋に注目が集まっていることを踏まえて、将棋人口というのでしょうか、将棋をやりたい層が膨らんでいるのではないかと勝手に想像しています。帯広ではどうなのかということ、その中でも、あの高校生に継ぐ様な人が出てこないだろうかと思ったものですから、何かトピックがあれば教えていただければと思います。

渡邊 館長

将棋人口につきましては、児童会館では月1回、将棋教室を行っております。日本将棋連盟十勝支部様に協力をいただいております。お話を伺う機会があるのですが、10年、20年前に比べるとお子さんから始める方が多くなり、児童会館の月1回の行事の参加者が増えています。その中で、お子さん同士で切磋琢磨したり、また、指導者からレクチャーを受けて強くなったり、また、ここに掲載させていただいております、年1回の将棋大会で研鑽を積み、さらに全道大会で十勝のお子さんが準優勝するといった、将来楽しみな人材は

いると伺っております。

田中 委員  
池原教育長

ありがとうございます。

他になれば質疑を終結し、本件を終了します。

その他（２）寄附受納についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

服部 室長

学校教育部の寄附についてご報告いたします。議案書 39 ページでございます。学校地域連携課担当分として、地域ぐるみで子どもを応援する活動の推進のため、市外在住の方より、130 件、198 万 4 千円のご寄附をいただいております。学校教育課担当分として、学校教育の振興のための奨学事業や教育の研究に役立てるため、市外在住の方より 114 件、164 万 5 千円をご寄附いただいております。学校教育部からは以上でございます。

石津 課長

続きまして、生涯学習部に関する寄附についてご報告いたします。はじめに、生涯学習文化課分として、風土に根ざした文化の振興のため、市外在住者の方より、20 件、計 27 万 9 千円をご寄附いただいております。次に図書館分として、図書購入のためとして、市外在住の方より、11 件、計 21 万円をご寄附いただいております。次に 40 ページ、動物園分として、動物展示施設等の整備及び動物の購入のため、市外在住の方より、17 件、計 24 万 8 千円をご寄附いただいております。最後に、スポーツ課分として、よつ葉アリーナ十勝の利便性向上のためとして、北海道バレーボール協会様より電波掛時計及び銘板を、帯広市スポーツ協会様より、折り畳みチェア及び FM 電波時計をご寄附いただいたほか、スポーツの振興のためとして、市外在住者の方より、25 件、計 35 万 6 千円をご寄附いただいております。生涯学習部からは以上でございます。

池原教育長  
各 委員  
池原教育長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になれば、質疑を終結し、本件を終了します。

事務局から、その他説明事項はありますか。

事務局  
池原教育長

ございません。

事務局からは特にないようですが、各委員から他にご意見、ご質問等があれば、お受けいたします。

各 委員  
池原教育長

ありません。

別になれば、ここで会議の進め方についてお諮りいたします。

日程第 4 及び日程第 5 の案件については、帯広市教育委員会会議規則第 16 条第 1 項第 3 号により非公開に、日程第 6 の案件については、同項第 1 号により秘密会にしたいと存じます。

これにご異議ありませんか。

各 委員  
池原教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのとおりに取り扱いたします。

これより会議を非公開といたします。

日程第4、議案第4号、令和2年度帯広市一般会計補正予算（第15号）についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

広瀬 部長

議案第4号、令和2年度帯広市一般会計補正予算（第15号）についてご説明いたします。議案書1ページをご覧ください。本案は地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、議会の議決を経るべき事件の議案について、教育委員会の意見を述べようとするものであります。5ページをご覧ください。教育費に係ります3月補正予算額は、上段左側の第50款、教育費、補正額の欄のとおり、4億3,823万円であり、補正後の予算額は78億9,626万円となるものであります。補正予算の詳細について、9ページ以降の事業別内訳書にてご説明いたします。最初に、学校教育部の補正予算についてご説明いたします。教育環境デジタル化推進費につきましても、来年度に執行予定のICT教育環境の運用支援業務委託について、今年度中に委託契約を締結し、新年度以降、速やかに運用支援業務を開始するため、債務負担行為を設定するものでございます。続きまして、新型コロナウイルス感染症対策関連分です。次のページをご覧ください。いじめ・不登校・非行対策事業費及び学校営繕費につきましても、換気の効果を高めるため、表に記載しておりますが、特別教室等の窓に網戸を設置するものであります。なお、本件は年度内の設置完了が難しいことから、繰越明許費を設定します。次に教育環境デジタル化推進費につきましても、大空小学校及び大空中学校における、児童生徒1人1台端末用の充電保管庫を整備するものであります。次のページをご覧ください。大空地区義務教育学校整備費につきましても、令和3年度実施予定事業を今年度に前倒しするよう継続費を変更し、財源的に有利になるように整備を進めようとするものです。なお、本件は年度内に事業が完了しないことから、予算の逡次繰越を予定しております。また、本件の詳細につきましても13ページにも掲載しております。次に12ページ、教材教具購入費につきましても、南商業高校において普通教室にプロジェクターを整備するべく、12月の補正予算で計上した経費について、年度内の納品が困難であることから、繰越明許費を設定するものです。次に財源の整理として、こちらの表に記載の7事業につきましても、地方債限度額の変更や各種市債の発行に伴い、4,150万円の財源振替を行うものでございます。なお、本件につきましても、生涯学習部も含めた教育委員会関連分の合計額となります。続きまして、14ページをご覧ください。寄附金に関して一覧表にてご説明いたします。寄附金とその利息について、寄附者のご意向に沿いまして、教育振興基金に691万1千円を、こども学校応援

地域基金に2,228万5千円を積み立てるものでございます。学校教育  
部に関する説明は以上でございます。

井上 部長

続きまして、生涯学習部の補正予算についてご説明いたします。  
9ページにお戻りください。文化ホール管理運営費及び社会体育施  
設管理運営費につきましては、燃料費単価が指定管理者との基本協定  
書締結時に比べ、上昇したことによる管理運営費委託料の増による  
ものでございます。また、スケート国際大会等誘致・開催事業費及  
びスポーツ大会・合宿誘致事業費につきましては、東京2020オリ  
ンピック競技大会聖火リレー事業及びパラリンピックの採火式事業並  
びに合宿誘致事業の延期に伴う事業費の減によるものでございます。  
次に11ページ、新型コロナウイルス感染症対策関連分、指定管理者  
への支援につきましては、感染症の影響により、利用料金収入の減  
少が見込まれる公の施設の安定的、かつ継続的な運営を図るため、  
とかちプラザの指定管理者を支援するものでございます。続きまし  
て、寄附金に関して一覧表にてご説明いたします。寄附金とその利  
息について、寄附者のご意向に沿いまして、ふるさと文化基金に353  
万1千円を、図書資料等整備費に1万円を、図書館図書整備基金に  
458万4千円を、おびひろ動物園ゆめ基金に622万1千円を、スポ  
ーツ振興基金に315万円1千円をそれぞれ積み立てるものでござい  
ます。生涯学習部に関する説明は以上でございます。

池原教育長  
佐々木委員

これから質疑に入ります。

2点お伺いします。まず、10ページ、学校等における教室の換気  
効果を高めるため、換気効果と網戸の関係がよくわからないので、  
お聞きしたいのですが、網戸を設置するから換気効果が高まるので  
はなくて、網戸を設置することにより虫等が入らず、心置きなく換  
気ができるという意味でしょうか。それとも、空気が流れが変わる  
とか何かあるのでしょうか。2点目は、11ページ、とかちプラザの  
指定管理者支援というのは、例えば、指定管理者について、不測の  
事態で極端な減収が見込まれる場合、支援するという規則の根拠が  
あるのでしょうか。それとも、今回の事態に対応し、新たな契約を  
結んでそれを根拠に支援するのか、支援の制度的な根拠がわからな  
いので教えてください。

服部 室長

網戸の関係については、虫が入ってくるため、なかなか窓が開け  
られないということで、今回、コロナの関係で換気の重要性から、  
国の財源等を使いまして、網戸を設置するというものでございます。  
特殊なものということではなく、今までなかなか窓が開けられな  
かったものですから、きちっと対応していきたいという意図でござい  
ます。よろしく願いいたします。

石津 課長

とかちプラザの指定管理者への支援につきましては、指定管理料  
を毎年度決めてお支払いしておりますけれど、その中で指定期間当

初の協定時に、基本協定書というものを結びまして、リスク分担の取り決めをしております。その中で今回の支援の関係につきましては、災害等の予測しえない事態ということで、リスク分担について、双方で協議して定めるという形で決めさせていただいております。それに基づき、本来であれば、得られたであろう収入を加味しながら、支援するものでございます。

佐々木委員  
藤澤 委員

ありがとうございます。

今のお話でお聞きしたいと思います。対象施設がとかちプラザということで、これ以外の他の施設も支援しなければいけない指定管理者というのはあるのでしょうか。前のページに、文化ホールと社会体育施設の管理運営費として、燃料単価上昇による管理運営費委託料の増とありますが、その位置付けについて、とかちプラザだけなのか、わからないので教えてください。

石津 課長

指定管理者支援の関係につきましては、実は12月にも補正予算で指定管理者への支援という提案をさせていただいております。この際に、令和2年の半年を経過した時点での見通しをもとに、指定管理の全施設を対象に今後の見通しを踏まえて、支援が必要か試算をしまして、その中である程度の減収が見込まれる施設については、補填しましょうということで、生涯学習部の所管施設について、今回、とかちプラザについて提案しておりますが、市民文化ホール、スポーツ施設にも一度支援をさせていただきます。ただ、一度支援をした後に、とかちプラザの場合は、実際の見通しよりも収入の落ち込みが大きく、さらに支援が必要ということで、今回、追加の形で補正予算を提案させていただいております。他の施設につきましては、一度支援させていただいた中で収まる見込みということで、今回はとかちプラザだけ提案する形になっております。

燃料単価につきましては、それぞれの指定管理者と基本協定書を締結する際に、その当時の燃料単価で年間の金額の定めがございました。今回、提案させていただいている文化ホールと体育施設につきましては、平成29年に基本協定書を締結し、その当時の重油単価は55円で、今より非常に低い単価で積算しており、現在は実勢価格75円で、20円くらい高騰しております。指定管理を指定したタイミングの関係もございまして、とかちプラザは昨年からは指定管理者となっているので、それなりに単価も高いものですから、締結時に低いところだけ補填という形で提案となっております。

池原教育長

基本協定書のリスク分担表というのがあります。その中に単価の上昇は20%を超えた部分は帯広市の負担、20%までは指定管理者の負担というリスク分担があり、それに基づいて行っています。

藤澤 委員  
田中 委員

ありがとうございます。

2点教えていただきたいと思います。1つは、今の件でお話はよ

くわかったのですけれど、コロナの関係で非常に厳しいところがたくさんあるだろうと思います。他にも要請を受けているのではないかと思いますが、差し障りのない範囲で教えていただければと思います。もう1つは、10ページ、佐々木委員が先ほど質問していた中で、いじめ・不登校・非行対策事業費で網戸を設置することにすっきりしなかったのですが、教えていただければと思います。学校営繕費であればよくわかるのですが。

石津 課長

指定管理者の支援につきましては、令和2年度当初から、感染症対策の関係で要請がかなりございました。収入が入らないという状況がわかっておりましたので、先ほどお話させていただきましたように、半年間の状況を見て、その後の見通しを立てた中で、利用収入とか、逆に必要のない経費も出てくる可能性もありますので、9月実績を基に試算させていただいて、1年分の支援金を算定し、12月議会で補正予算として提案させていただいております。その当時、落ち込みが大きかったところにつきましては、12月の支援でだいたい収まるようになっていたのですが、その中でも、とかちプラザにつきましては、想定よりも利用収入が低く、さらに支援が必要として、今回、提案させていただいております。基本的には年間の収支を勘案して、支援の算定をしております。

池原教育長

支援は支援として、現状の中でスポーツ施設を含めて、管理業務を見た時に何か支障があるとか、経営的に厳しいという話は聞いていませんか。制度についてはわかりますが、状況についてのご質問だと思いますので、わかる範囲で説明をお願いします。

石津 課長

収入がある程度入らない中で、資金繰りは正直厳しいというお話はありました。指定管理者の方で運営については、何とか切り詰めて工夫していくことで、ご理解をいただいております。確かに資金的には非常に厳しいという声はいただきました。

西田 課長

10ページの網戸の事業費につきましては、主に小中学校及び南商の事業費でございますが、一部、適応指導教室の網戸を設置するというので、いじめ・不登校・非行対策事業費として計上しております。

田中 委員

ありがとうございます。

池原教育長

他になれば、質疑を終結します。

お諮りいたします。

議案第4号、令和2年度帯広市一般会計補正予算（第15号）については、原案のとおり了承することに、ご異議ありませんか。

各 委 員

異議なし。

池原教育長

ご異議なしと認め、議案第4号は了承されました。

日程第5、議案第5号、令和3年度帯広市一般会計予算についてを議題といたします。

広瀬 部長

直ちに説明を求めます。

議案第5号、令和3年度帯広市一般会計予算についてご説明申し上げます。議案書の17ページからです。本件は地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、議会の議決を経るべき事件の議案について、教育委員会の意見を述べようとするものでございます。まず、令和3年度の歳入予算についてご説明いたします。議案書19ページをご覧ください。一番下の表、3. 教育委員会合計にありますとおり、令和3年度当初予算は、27億44万3千円で、前年度当初予算と比較いたしますと、3億8,216万3千円の増となっております。主な理由としましては、上の表、1. 学校教育部関係においては、大空地区義務教育学校の整備に関連する国庫支出金や市債のほか、繰入金の増など、2. 生涯学習部関係においては、アイヌ政策に関連する国庫支出金のほか、スポーツ大会・合宿誘致事業に伴う道支出金や各施設整備に関連する市債の増などによるものでございます。次に、歳出予算についてご説明いたします。議案書21ページをご覧ください。まず、学校教育部と生涯学習部を合わせた令和3年度の教育費当初予算総額は、一番下の表、3. 教育委員会合計の教育費、予算額にありますとおり、68億3,131万3千円であり、前年度当初予算と比較いたしますと、5億9,769万1千円の増となっております。一般会計全体の予算につきましては、その下にありますとおり、853億4,400万円となっております。一般会計に占める教育費の割合は、8.00%であり、前年比0.56%の増となっております。それでは、学校教育部の予算からご説明いたします。議案書20ページをご覧ください。学校教育部関係の教育費予算総額は、表の上段に記載のとおり、44億1,486万4千円であり、前年度と比べ、4億5,316万1千円の増となっております。主な増減理由につきましては、表の下に記載しておりますのでご覧いただければと思います。続きまして、令和3年度の学校教育部における主な事業につきまして、議案書27ページ、A3の令和3年度帯広市教育委員会予算（案）概要によりご説明いたします。この概要は帯広市教育基本計画に掲げる2つの基本目標と7つの基本施策の体系に沿って整理させていただいております。はじめに、左側の基本目標1、夢の実現に向けて自立し互いに支え合う人づくりであります。まず、基本施策1、帯広の明日を拓く力の育成では、ふるさと帯広への愛着と地域社会の一員としての意識を育む、おびひろ市民学を実施するほか、南商業高校においては、キャリア教育や国際理解教育、社会人教育など、地域で活躍する人材の育成に取り組んでまいります。次に、基本施策2、変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成では、子どもの読書環境充実のため、国の基準冊数に対する蔵書率が100%となるよう、学校図書資料及び書架を整備するほか、

教職員のICT活用による指導力の向上や情報教育の充実を図るため、新たに、おびGIGA支援員派遣事業を行ってまいります。また、老朽化に伴い、清川中学校の教員住宅の改築を行います。次に、基本施策3、地域とともに育む教育の推進では、コミュニティ・スクール実施校を拡充するなど、学校・家庭・地域の連携・協働により、地域全体で子どもを育む取り組みを推進してまいります。次に、基本施策4、安全・安心な教育環境の整備では、令和2年度に引き続き、大空地区義務教育学校の整備を進めるほか、学校トイレの洋式化、煙突用断熱材のアスベスト対策工事、ボイラー改修工事などを行ってまいります。また、各学校や適応指導教室における換気の効果を高めるための網戸設置のほか、ICTを活用した教育環境を充実させるための支援事業を行います。学校教育部関連の予算概要につきましては以上でございます。

井上 部長

続きまして、生涯学習部の予算についてご説明いたします。恐れ入りますが、議案書21ページにお戻りください。左上の欄に生涯学習部の令和3年度当初予算総額として、24億1,644万9千円を計上いたしました。令和2年度当初予算と比較して、1億4,453万円の増となっております。主な増減理由につきましては、表の下に記載しておりますのでご覧いただければと思います。次に、生涯学習部における主な事業につきまして、議案書27ページ、A3判の令和3年度帯広市教育委員会予算（案）概要にしたがってご説明させていただきます。帯広市教育基本計画の基本施策のうち、基本施策2、変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成では、小中学生のための札幌コンサートなどの子ども向け鑑賞機会提供や、ぶっくーる便など図書館と学校の連携事業や体験活動機会の提供など、子どもたちの豊かな人間性と創造性の育成を進めてまいります。次に、基本施策5、自ら学びともに支える生涯学習の推進では、市民大学講座や博物館講座の開催による学習機会の提供をはじめ、電子書籍購入などの図書資料の整備、動物園アザラシ舎改修のほか、児童会館のプラネタリウム更新や屋内での学びと遊びの機能拡充など、学習活動の促進と、学習を通じたまちづくりを進めてまいります。次に、基本施策6、人が輝く文化芸術活動の推進では、市民芸術祭や新人演奏会の開催をはじめ、伝統的なアイヌ文化・生活の場として、イオルの再生支援や、百年記念館など3施設連携による、アイヌ文化とのふれあいゾーン形成事業のほか、文化ホールの吸収式冷温水発生器更新など、文化芸術活動の促進や文化資源の継承と活用を進めてまいります。次に、基本施策7、笑顔をつなげるスポーツ活動の推進では、ほっとドリームプロジェクトや2021フードバレーとかちマラソンをはじめ、東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業や第94回日本学生氷上競技選手権大会開催事業のほか、帯広の

森スポーツセンター天井塗装改修工事など、スポーツ活動の促進やスポーツによる活力あるまちづくりを進めてまいります。生涯学習部関連の予算概要につきましては以上でございます。

池原教育長  
藤澤 委員

これから質疑に入ります。

予算的なことではないのですが、何点かお聞きしたと思います。まず、小学校の机・椅子更新事業について、2,510 セット、7年リースというのは、どのような形で行うのか教えていただきたいのと、学校図書資料整備事業で、子どもの読書環境充実ということで、国の基準冊数に対して蔵書率 100%とするため、書架を整備とありますけれど、この台数で間に合うのかということ、そして、現在、蔵書率は何%くらいなのかお聞きしたいと思います。もう1点は、動物園のアザラシ舎改修事業について、新築ではないと思いますが、それに至った理由と、改修ということは何年くらい持つのか、その後、新アザラシ舎ができる可能性があるのか、見通しについてお聞きしたいと思います。

佐藤 課長

学校の机・椅子の更新についてお答えいたします。これまで小学校の机・椅子につきましては、昨年度に高学年用5・6年生の更新をいたしまして、令和3年度に小学校3・4年生の机・椅子を更新する予定であります。こちらにつきましては、こちらで定めたセット数の入札を行い、なるべく支払いを平準化させる目的もあり、84回に分けて7年で支払いをしていく形になります。

藤沼 課長

学校図書の関係でお答えいたします。令和元年度末におけます学校図書の蔵書率は小学校 86%、中学校 92.9%、合計 88.6%という状況でございます。学校図書につきましては、図書館の密を避けるため、また、在宅時間の充実という観点から、令和2年度の12月補正予算でも、約1万2千冊の蔵書の予算措置をしております。その際に、図書の保管場所として、現在の図書室やその他の箇所も使い、図書を展示しておりますけれど、不足している状況もございますので、12月補正の際にも、1万2千冊の蔵書が可能な書架を併せて整備しております。今回につきましても、100%達成するために、小学校で約2万4千冊、中学校で約8千冊の蔵書の増を行いますけれど、これらすべてが収まるような書架についても併せて整備を行い、収納場所に困ることのないよう 100%を達成していきたいと考えております。

柚原 園長

アザラシの改修工事についてお答えいたします。アザラシ舎は昭和57年に造られ、40年経過をしております。元々はペンギンを飼うためのプールを造っていたところであります。劣化により表面のモルタル部分が剥がれ落ち、修繕を繰り返していましたが、専門業者によると、いよいよ躯体の方が持たないということで、今、アザラシを4頭飼育しておりますが、向かいのアシカ舎の方が広々とし

た空間で泳げるということで、そこに移転させ、アザラシはそれほど水深が必要ないので、嵩上げて展示効果を上げていきたいと考えており、今回の工事で凡そ10年は持つだろうということです。その先につきまして、アザラシは飼い続けていきたい動物種であり、順次、劣化具合を見ながら予算を組み立てていきたいと考えております。今のところ、新規の計画はございません。

藤澤 委員  
柳川 委員

ありがとうございます。

図書館と学校図書館、動物園についてお聞きしたいと思います。まず、図書館と学校図書館について、うちの大学の図書館を改装した時に蔵書スペースを減らしました。これはデジタル化で恐らく今後は蔵書スペースを必要なくしていくと考えた上で、アクティブ・ラーニング・スペースを増やして、蔵書スペースを減らすという方針での改築でした。今現在、帯広市図書館や学校図書館ではどれくらいデジタル化を進めておられるのかということと、動物園のアザラシのスプラッシュ演出というのは、どのようなおもしろい行動が見られることを期待しておられるのか、2点お聞きしたいと思います。

前原 館長

図書館におきましては、書庫の所蔵能力というのは50万冊ということで設定しておりますけれど、実際には本の大きさの違いなどがあり、現在、紙ベースで55万冊を超える所蔵でございます。貸出しもありますし、現段階では収まっている状況です。書庫の状況も見ながら、12月補正、来年度当初予算を計上しておりますけれど、電子書籍も含めた中で書庫の状況を見ながら、簡単に書庫の所蔵能力を簡単に増やせるわけではありませんので、新たな手法である電子書籍も含めて蔵書の充実を図ってまいりたいと考えております。

藤沼 課長

学校図書館の状況につきましては、学校によっても状況は様々異なりますけれど、学校図書館の中だけでは収蔵できない状況もございますので、空き教室などがある場合、学校図書館以外の場所に第2図書館として活用することがあります。それから、デジタル化につきましては、図書館の電子書籍導入に合わせまして、学校向けの書籍を一定数量購入していただき、学校でも利用可能な状態にしようと考えてございます。来年度、4月から1人1台端末の運用も始まってまいりますので、そういった部分での利活用も考えているところでございます。一方で紙の図書の良さもあると思いますので、今回100%をめざす形の予算を計上させていただくものでございます。

前原 館長

先ほどお答えすればよかったのですが、帯広市図書館において電子書籍は、新年度からの新たなサービスとなります。現在の予定では4月1日からネット上でサービスが開始できる見込みであります。それから、今年度の補正予算で9千冊計上いたしまして、現在、選書の作業中ですが、単価が安いものもあり、1万冊は超える見

込みで、予定した冊数よりも大幅に多く用意ができる状況でございます。利用の仕方等についても、事前にPRに努め、スムーズにご利用いただけるよう努めてまいりたいと考えております。

池原教育長

1万冊は補正と令和3年度当初予算と合わせた見込みですか。それとも補正予算だけですか。

前原 館長

補正予算だけで1万冊です。4月1日にサービスを開始するまでに整備を行えるものが9千冊の予算を見ていましたけれど、実際に購入を詰めており、1万冊は大幅に超えて用意できると考えております。

池原教育長

令和3年度の予算ではどうですか。

前原 館長

令和3年度においても予算付けしておりますが、数百冊になります。電子書籍自体は期限があるものとなないものがあり、期限がきて消滅するものもあるため、そういったことも鑑みながら充実させていきたいと考えております。

柚原 園長

アザラシ舎の展示効果につきましては、既存のスロープは少しあるのですが、効果の予定としては、スロープとステージを広く持とうと考えております。給餌の際にアザラシが反応してくれるので、スプラッシュ効果や日光浴をしているアザラシの姿を市民の皆さんが近距離で見られる効果があると思われま。

佐々木委員

基本施策3、子どもの見守り活動推進事業について、予算とは直接関係ないかもしれませんが、近年、登下校の見守りする方々がどんどん減って行って、市全体ではどうなっているのかわかりませんが、最初は町内会の要請で始めて、長年ずっと見守りをしている方たちが高齢化で引退する方もいらっしゃいます。PTAで賄おうとしても手を上げる方がいなくて、思うような見守り活動ができていないところもあると思います。純粹にボランティアだけに頼って続けていける事業なのかどうか、個人的には不安に思っています。今現在、市内小中学校で見守り活動の継続に困難を感じているという報告や相談などがあるかどうかお聞きしたいと思っております。

村木 課長

現在、地域連携の見守り活動ということで、各小中学校で活動していただいております。現在のところ、担い手不足というお話はありますけれど、数が少なくて困っているというお話はまだ聞いていないところでもあります。広報活動もしていますので、今後も引き続き活動に携わっていただける方を募っていきたいと考えております。

佐々木委員

ありがとうございます。

田中 委員

私からも何点か教えていただければと思います。22ページ、新規事業のGIGA支援員派遣事業について、各小中学校の巡回支援が各校2時間を年4回ということです。良いことだとは思いますが、具体的に何名の体制なのか教えてください。それから、先ほど話題になっていました、学校図書館の件について、ある意味画

期的だろうと思います。今まで学校図書館は本が古い、昭和の本、戦後の本しかないとか言われていた時代が長く続いておりました。すべて 100%にしますというのは、コロナ禍が幸いした1つの例だろうと思います。学校図書館は基本的にはボランティアの方々によって成り立っていると理解しています。特にお母さんたちが一生懸命されていて、佐々木委員もそうだったと思いますが、ぜひ、お願いしたいのは、大事にさせていただいて、整備、選書等を含めて、いろいろ手伝っていただいたらいいのではないかと思います。それから、廃棄の関係はどうするのでしょうか。帯広市図書館でもされていると思いますけれど、我々の短大でもリユース事業というのもあり、有効活用も踏まえてご検討いただければと思います。学校トイレについて、5,475万円の予算で洋式化していくということで、大きな取り組みだと思います。162基の改修ということですが、現段階で小中学校の洋式率は何%になるのか教えていただきたいと思います。和式じゃないと嫌というお子さんも当然いるだろうということも踏まえて、達成率はどの位を目標としているのでしょうか。最後に児童会館について伺いたいと思います。プラネタリウム機器の更新は44万7千円ですよろしいのでしょうか。プラネタリウム機器更新というので、大改革をするのかと思ったのですが、この金額で何ができるのかお伺いしたいと思います。今まで児童会館は教育委員会の所管ではなかったのも、イメージが湧いていないところがあります。帯広の子どもたちにとって、児童会館は子ども時代の原風景になっているところがたくさんあると思うので、お金を入れていろいろな改革もしていただきたいと思います。

高橋 所長

ご質問中、おびG I G A支援員の人数についてお答えいたします。予定している人数は1名でございます。その方は帯広市内で現在、個人でICTに係わるお仕事をされており、既に私どもで派遣しています情報教育の支援員を長年務めていらっしゃいます。

藤沼 課長

学校図書館はボランティアの方々を支えられている部分が非常に大きいと考えてございます。今回、購入する本につきましても、貸出用のラベルを貼ったり、システムに登録したり、また、展示をしたり、学校司書が配置できていない現在、ボランティアの方々には頼らざるを得ない状況でございます。支援体制としましては、各学校のボランティア活動を支えるため、1校あたり年20万円の活性化支援事業という形で補助金を交付しており、ボランティアの方々の謝礼や展示等に要する経費に充てていただいております。廃棄の関係につきましては、田中委員からお話があったとおり、壊れているような古い図書もあります。学校の先生、市立図書館の司書で構成されております、学校公共図書館研究会という組織がございまして、ちょうど今年、廃棄についての考え方の整理をしていただいて、先

般、各学校に示していただいたところでございます。学校で不用になった図書について、リユースに耐えられないような本もあり、やむなく廃棄という状況になってございます。帯広市図書館で不用となった本のリユース会というのが開かれており、そこから、学校図書館へ本を回していただいている事例もございます。新規図書の購入というのもありますけれど、今後もリユース等を使いながら、学校図書館の図書の充実に努めてまいりたいと考えております。

小澤 主幹

令和2年度末における洋式化率につきましては、小学校90.7%、中学校79.9%、合わせて87.3%となります。令和3年度につきましては、残り小学校4校、中学校4校、南商を含め、洋式化100%となり、令和3年度ですべて完了します。

渡邊 館長

児童会館のプラネタリウムにつきましては、右の方に債務負担行為設定ということで、令和3年から13年度で5,320万円となります。お尋ねの44万7千円につきましては、10年間で限度額5,320万円でございますが、光学式プラネタリウムとデジタル式プラネタリウムというのが2つございます。光学式は光源があつて黒い原板に穴を開けて透かして星を天井に映すものなのですが、デジタル式はプロジェクターを半円に360°投影するような形式のものでございます。今回、光学式については、オーバーホールをしながら、今のものを使い続けます。また、デジタル式は更新という形になります。デジタル式は10年間のリースを予定しておりまして、5,320万円のうち、2,521万2千円を予算計上させていただいております。このうち令和3年度につきましては、最後の令和4年3月分の機材のリースと前の機材の撤去作業費用として、44万7千円を計上するものでございます。生涯学習部に移管というお話がございましたけれど、今回のデジタルプラネタリウムの更新を行うことにより、単純に画像が鮮明になるだけではなくて、例えば、大樹町からロケットを打ち上げた時の上空から見た映像など、また、光学式プラネタリウムとの連携の部分で最新式となりますので、学習効果を狙っていきたいと考えております。

池原教育長

おびG I G A支援員の話については、補正の委託経費とセットで説明した方がいいと思いますので、お願いします。

藤沼 課長

おびG I G A支援員とは別に、3月の補正予算の主要事業でございます。議案書9ページをご覧くださいと思います。教育環境デジタル化推進費といたしまして、ICT教育環境の運用支援業務委託に係る債務負担行為の設定とあります。新年度から1人1台端末、校内Wi-Fiなど、様々な機器、設備が学校の中に入って、運用していかなければならないわけですが、1人1台の端末で、1人1アカウント、いわゆるメールアドレスを子どもたち、教職員一人一人に割り振ります。その部分についても、併せて管理

を行っていかねばなりませんので、そういった表には見えづらい部分ではありますが、そういった支援業務については、3月補正予算で債務負担行為を設定いたしまして、3月中に事業者と契約を行い、4月から速やかに業務にあたるように、取り組みを進めてまいりたいと考えており、支援業務と各学校を回っていただく、おびGIGA支援員の2つセットで、各学校のICTの取り組みを支えていきたいと考えております。

田中 委員

ありがとうございます。プラネタリウムがものすごく立派になるということがわかりました。どんどん宣伝していただきたいと思います。

藤澤 委員

もう1つ、動物園についてお聞きしたいと思います。以前、10年間の動物園魅力アップの方針の中に、家畜のふれあい広場というのが出ていたと思います。来年度、それに向けての準備などはなさらないのでしょうか。やる方向性は今も変わっていないのか、それとも今回のアザラシ舎のように、獣舎が改修や新築しなければならない状況になると、家畜のふれあい広場については後にずれていくのか、どのように考えているのかお聞きしたいと思います。

柚原 園長

私どもでは魅力アップに向けての方針を決めております。その中では家畜のふれあいを謳っておりますので、今回の予算計上はありませんが、私どももそれを念頭に置いており、次年度以降に、ぜひやってみたい事業でございます。動物園の中では、現在、課題等を整理している段階であります。

藤澤 委員  
池原教育長

ありがとうございます。

他になれば、質疑を終結します。

お諮りいたします。

議案第5号、令和3年度帯広市一般会計予算については、原案のとおり了承することに、ご異議ありませんか。

各 委 員  
池原教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、議案第5号は了承されました。

これより会議を秘密会といたします。

(以下 非公開)

池原教育長

以上で本日の日程はすべて終わりました。

これをもちまして、令和3年第4回帯広市教育委員会会議を閉会いたします。